

授 業 科目名	【 G 】	中国語 I	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】1
	【 H 】	中国語 I	選 択 必 修			【 H 】 1		【 H 】 1
科目区分	外国語科目：【 G・H 】教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（全教科）							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための（全教科選択必修）科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための（全教科選択必修）科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 「外国語コミュニケーション」						
サブ タイトル	中国語入門					担当者	陶 琳	
授業概要	【概要】	中国語入門は、中国語を初めて学ぶ学生を対象とした科目であり、まず中国語の標準語「普通話」の発音を勉強し、その後中国語の挨拶言葉や基本的な会話及び基礎的な文法項目を体系的に学習します。また、言葉やDVD視聴教材を通して、日中の異なる漢字や考え方や行動様式の違いに理解して、異文化コミュニケーションの能力を身につけます。						
	【到達目標】	本授業の到達目標は、受講生が中国語を一年勉強し、発音が上手になり、初級学習の重要な文法や語彙及び本文会話をマスターします。①中国語の発音をマスターすること。（ピンインを正しく読み、書けるようになり、四つの声調を正確に発音できるようになります）。②初級中国語レベルの基本的な文法ポイントや簡単な自己紹介など会話表現ができるようになること。③言葉やDVD視聴教材を通して、現代中国文化・社会についての理解を深めて、異文化コミュニケーションの能力を身につけることを目指します。						
履修条件	言語圏文化論(中)の単位修得者を優先します。							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【○】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		◎ （よく当てはまる）					
他科目との 関連性	言語圏文化論(中)の内容を理解した上での受講を薦めます。							
教科書	監修 大瀧幸子 著者 陶琳『ここから始める基礎中国語[学汉语第一步]』 朝日出版社 2023年							
参考書	「授業中に、適宜、資料を配布する」							
評価方法	「練習課題30%、授業への参加態度 10%、小テスト 10%（授業の進捗状況によって指示を行う）、達成度確認テスト50%」							
フィードバック 方法	教員が採点・評価をした課題や小テストを返却する。							
評価基準	総合点が80点以上（80点を含める）の者は「A」（うち特に優れたものには「S」）とし、70～79点の者は「B」、60～69点の者は「C」とします。60点以下の者は「D」または「E」とする。なお、達成度テスト欠席など、評価不能の場合には「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	中国語 I	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 1
	【 H 】	中国語 I	選 択 必 修		【 H 】 1		【 H 】 1
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 「中国と中国語」について						
	予習:	「中国と中国語」について			復習:	講義内容	
2	発音1 中国語の音節、発音声調、轻声との組み合わせ及び声調符号の付け方						
	予習:	テキストp.8-9 中国語の音節・声調・轻声・声調のつけ方			復習:	講義内容と音声再生アプリを利用して発音の繰り返し練習	
3	発音2 中国語の母音 単母音と複母音						
	予習:	テキストp.10-11単母音・特殊母音と複母音			復習:	講義内容と音声再生アプリを利用して発音の繰り返し練習	
4	発音2 中国語の鼻母音 前鼻母音と後鼻母音						
	予習:	テキストp.12-13 母音中心トレーニング			復習:	講義内容と音声再生アプリを利用して発音の繰り返し練習	
5	発音3 中国語の子音 無気音と有気音 そり舌音						
	予習:	テキストp.14-15 子音 子音中心トレーニング			復習:	講義内容と音声再生アプリを利用して発音の繰り返し練習	
6	発音4 変調 （第三声の変調、“不”の変調、“一”の変調、）とr化音						
	予習:	テキストp.16-17 変調とr化音			復習:	講義内容と音声再生アプリを利用して発音の繰り返し練習	
7	発音の総復習 発音総合トレーニング						
	予習:	発音1～発音4の復習 p.8～17			復習:	講義内容と音声再生アプリを利用して発音の繰り返し練習	
8	DVD教材をみて中国文化に触れる						
	予習:	DVDに関連する内容について調べてくる			復習:	講義内容	
9	第1課「大学のキャンパスでの出会い」(一) 新出単語・会話						
	予習:	テキストp.18-19 新出単語・会話			復習:	音声再生アプリを利用して会話文の発音練習と暗記	
10	第1課「大学のキャンパスでの出会い」(二) 文法ポイント 書き練習と会話練習						
	予習:	テキストp.20-21 文法ポイント 別冊書き練習p.12-13			復習:	会話によって簡単な自己紹介文を作り、そして暗記する	
11	第1課「大学のキャンパスでの出会い」(三)文法ポイント理解のために 書き練習と会話練習						
	予習:	テキストp.22-23 文法ポイント 別冊書き練習p.14-15			復習:	文法と別冊書き練習p.14-15 発音練習と暗記	
12	第2課 「ショッピングモールでの買い物」(一) 新出単語・会話						
	予習:	テキストp.24-25 新出単語・会話			復習:	音声再生アプリを利用して会話文の発音練習と暗記	
13	第2課 「ショッピングモールでの買い物」(二)文法ポイント 書き練習と会話練習						
	予習:	テキストp.26-27 文法ポイント 別冊書き練習p.16-17			復習:	文法と別冊書き練習p.16-17 発音練習と暗記	
14	第2課「ショッピングモールでの買い物」(三)文法ポイント理解のために 書き練習と会話練習						
	予習:	テキストp.28-29 文法ポイント 別冊書き練習p.18-19			復習:	第1課～第2課の総合復習及び別冊書き練習の総合復習	
15	まとめと学習到達度の確認						
	予習:	第1課～第2課の総合復習:会話和訳、文法及び別冊書き練習			復習:	学習到達度確認の解説の再確認	
その他	無断欠席6回以上で単位放棄とみなします。授業最終回には必ず参加すること。 ※授業ごとの予習・復習時間は、各2時間程度を目安としてください。 ※G・Hカリ:【選択必修(C)】						